

「意図をもつ金融～インパクトファイナンスのすべて～」刊行

～本邦初、16社による日本におけるインパクトファイナンスの具体的事例を掲載～

金融機関が自主的にインパクトファイナンス推進を協働して取り組む[インパクト志向金融宣言](#)（宣言）は、このたび、高崎経済大学学長水口剛教授の監修で、「意図をもつ金融～インパクトファイナンスのすべて～（金融財政事情研究会出版）」を刊行しました。

本書は、インパクトファイナンスの起源、歴史、主要なフレームワーク等の解説に加え、多様なアセットクラスからなる宣言署名機関16社に実践事例説明を執筆してもらい、「なぜ今、インパクトファイナンスが必要なのか」、「財務的リターンは得られるのか」、具体的な取組みとともに、実務上の課題とその解決の方向性を提示します。また、出版を記念したシンポジウムを6月30日に行います。[（申し込みリンク）](#)

本書の内容

金融には大きな潜在力がある。これが私たちの旅路の出発点だ。

金融を通じて環境・社会課題の解決を目指す「インパクトファイナンス」の市場が急速に拡大しているが、なぜ今、インパクトファイナンスが必要なのか。財務的リターンは得られるのか。具体的な取組みとともに、実務上の課題とその解決の方向性を提示。銀行、保険会社、運用機関、ベンチャーキャピタル等、金融機関がつくるイニシアティブである「インパクト志向金融宣言」による挑戦とそこから得られた実践知。

【監修】水口 剛（高崎経済大学 学長）商社、監査法人等の勤務を経て、1997年高崎経済大学経済学部講師、2008年同大学教授、2021年より現職。専門は責任投資（ESG投資）と非財務情報開示。

【著】インパクト志向金融宣言 インパクト志向を有する国内金融機関が協同し、インパクト投融資の実践を推進するイニシアティブ。金融を通じて環境・社会課題を解決するという考え方に基づき、2021年11月に発足。

【主要目次】

序章 インパクトファイナンスとは何か

1 インパクトファイナンスへの注目、なぜ今なのか？/2 インパクトファイナンスの定義/3 インパクトファイナンス市場は4年で34倍に

第1章 インパクト志向金融宣言の挑戦

1 インパクト志向金融宣言の立ちあげ/2 動き出したインパクト志向金融宣言/3 インパクト志向金融宣言にかける思い

第2章 インパクトファイナンスをめぐる潮流

1 インパクトファイナンスの国際動向/2 インパクトファイナンスを支える原則類・フレームワーク等 / 3 日本におけるインパクトファイナンス/4 国際比較からみた日本の特徴

第3章 IMMの実装

1 IMMとは何か/2 IMMの普及と定着/3 IMMの現状/4 IMMの課題

第4章 インパクト志向金融の実践——ケーススタディ

CASE1(未上場株式)キャピタルメディカ・ベンチャーズ/CASE2(未上場株式)GLIN Impact Capital/CASE3(未上場株式)第一生命保険/CASE4(未上場株式)はたらく FUND/CASE5(未上場株式)UntroD Capital Japan/CASE6(上場株式)かんぽ生命保険・コモンズ投信/CASE7(上場株式)三菱UFJ信託銀行/CASE8(上場株式)りそなアセットマネジメント/CASE9(融資)SBI新生銀行/CASE10(融資)三井住友信託銀行/CASE11(融資)みずほ銀行/CASE12(債券)大和証券/CASE13(債券)ティー・ロウ・プライス・ジャパン/CASE14(地域金融)静岡銀行/CASE15(地域金融)京都信用金庫/CASE16(地域金融)肥後銀行

第5章 インパクトファイナンスの発展に向けた課題

1 インパクトとリターン/2 システムレベルの思考と投資/3 インパクトファイナンスの「連携」

終章 インパクト志向金融が描く未来

1 システムレベルのリスクに挑む/2 金融の再定義/3 インパクト志向が主流の未来に向けて

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

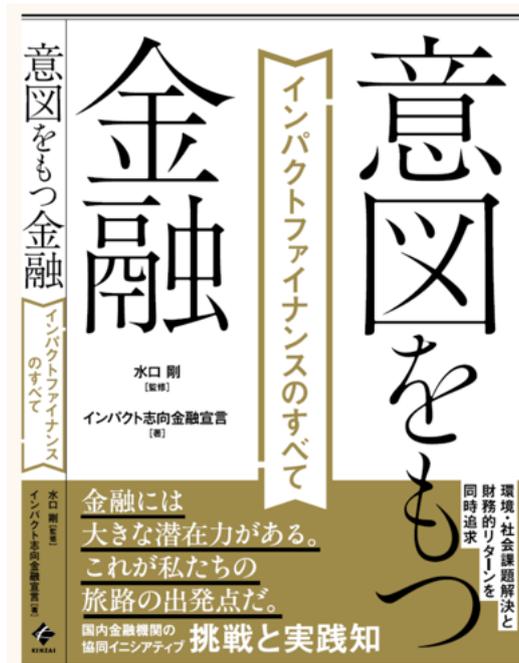
インパクト志向金融宣言 担当：小笠原 TEL：080-7003-6482 MAIL：impactdrivenfi@gmail.com

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

インパクト志向金融宣言について

「インパクト志向金融宣言」の署名機関は、金融機関が扱う資金の流れを可能な限りインパクト志向へと変革させ、環境・社会課題を自律的に解決しうる持続的な資金循環を生みだすことを目指している。かかるビジョンを共有する複数の金融機関が協働し、インパクト志向の投融資の実践を進めて行くイニシアティブである。2021年11月に21社の金融機関により設立、多様なアセットクラスの金融機関等が参画しており、2025年現在71社が署名。イベント、ウェビナー等の実施に加え、6つの分科会を中心に活発に活動している。



6月30日 出版記念シンポジウム開催概要

- ・日時：2025年6月30日（月）午後3:00～5:20
- ・場所：官民共創 HUB とオンライン形式とのハイブリッド開催
- ・対象：
 - ◆金融機関関係者（投資家、融資担当者、企画担当者など）
 - ◆企業・団体のサステナビリティ推進担当者、経営層
 - ◆研究者、学生
 - ◆インパクト投資に関心のある一般の方々
- ・参加費：無料
- ・主催：インパクト志向金融宣言
- ・申し込み：[リンク](#)よりお申し込みください。

1. オープニング(20分)

◆書籍『「意図をもつ金融」インパクトファイナンスのすべて』の出版意図・概要紹介 監修者 高崎経済大学学長 水口剛先生

2. パネルディスカッション「インパクトファイナンスの現在地と未来 - 実践事例からの学びと今後の展望」

3. 質疑応答 (15分)

◆会場参加者およびオンライン参加者からの質問に、パネリストの皆様にご回答いただきます。

4. クロージング

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

インパクト志向金融宣言 担当：小笠原 TEL：080-7003-6482 MAIL：impactdrivenfi@gmail.com